

実践研究報告書

藤沢市立大鋸小学校

校長 佐藤 良子

テーマ 『児童の心の育成』

1 健康教育に係る学校の現状と課題

現代の子どもたちは、体力の低下、睡眠時間の減少、小食・偏食・朝食を摂取しないなどの食事の変化など、健康に生きるために大事な運動・睡眠・食事という面で様々な問題を抱えている。

本校の子どもたちは、全体的に自分の健康状態や体の成長について興味関心を持っており、健康の保持増進についての知識を持っている子も多い。

しかし、心の健康という面での知識を持っている子どもは少ないように感じる。本校の児童も心が育ちきっていないため、トラブルが起きる場面もある。

2 実践のねらい

本校では、友達同士の関わり合いの中で、揉め事が起こる場面がある。話を聞いてみると、思い違いやおたがいで話をしっかり伝えて伝えることができれば、解決できることが多い。そこで、「OTSUKA 漫画ヘルシー文庫」を使い、児童の心の育成をねらう。

3 実践の内容と成果・課題

(1) 実践組織（校内体制）

保健・体育部

(2) 実践内容

「OTSUKA 漫画ヘルシー文庫」（脳とこころ～こころのおうちは脳の中）を使い、具体的な事例を示しながら、日々の自己の生活を思い起こさせる。友達同士のトラブルが起きた場合の対処方法などを指導する。

(3) 成果

文庫の中には、児童の日常で起こりえるトラブルが漫画によって描かれていて、その対処法が後に文章によって記されている。漫画によって具体的な事例を示すことで、多数の児童が「こういうことよくある」と共感していた。そして、その後の文を解説すると「そうか」「確かに」などという言葉も多く聞こえた。

(4) 課題

実践を行い、トラブルを未然に防げるようになった部分と、まだまだ心の育成が未熟だと感じる部分とがあるので、今後も継続して指導を続けていきたい。

4 実践のまとめ

今回この実践をおこなうにあたり、「OTSUKA 漫画ヘルシー文庫」を学級内に置いたところ、児童は様々な時間に手に取り、読んでいた。日頃の学級指導で、友人関係のトラブルについての話をすると、「漫画で見たことある。」などと言う児童も出てきた。児童が気軽に読めるよう、各学級に常備できると非常に良いと感じた。